

主催：一般社団法人北海道環境保全技術協会
後援：一般社団法人土壌環境センター
平成 29 年度第 2 回環境保全技術セミナー

日時：平成 30 年 2 月 2 日（金）、14 時 00 分～16 時 35 分

場所：札幌国際ビル 8 階 国際ホール（定員 144 名）（札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1）

【セミナーの内容】

1. 『トンネル工事から発生する岩石の破砕方法および自然由来重金属等の処理技術について』

〔概要〕 UBEグループでは、トンネル坑内の作業環境や作業効率の改善を目的とした破砕機や岩石・土壌から溶出する重金属等の吸着・不溶化処理に関する研究開発を行い、得られた科学的知見をもとに合理的でかつ経済的な技術提案活動を行なっている。

本発表では、環境負荷低減型の破砕機およびマグネシウム系資材による重金属等の処理技術について紹介する。

〔発表者〕 宇部興産機械株式会社 産業事業部国内営業部 電力・インフラ営業グループ 主任 渡辺 新一 氏
宇部マテリアルズ株式会社 カルシア関連事業部土木営業推進室 室員 平山 剛 氏

2. 『自然由来重金属等を含む掘削土対策のご紹介
（重金属吸着 JiT マットと重金属吸着鉄粉 MSI-X）』

〔概要〕 現在、計画されている都市圏大規模開発、道路建設、鉄道建設におけるトンネル工事等で発生する自然由来重金属等を含む掘削土には、より合理的な処理方法が求められている。弊社では、その処理をより合理的に対応可能な資材を開発し、いくつかの事案に採用いただいております、それらの開発試験や実績を紹介する。

〔発表者〕 JFEミネラル株式会社 鉱産品事業部 環境プロジェクト部 尾崎 隆 氏
JFEミネラル株式会社 技術研究所 須藤 達也 氏

3. 『バイオレメディエーションによる各種特定有害物質の浄化法の紹介』

〔概要〕 VOC汚染土壌・地下水の嫌気性微生物による原位置浄化を中心として、油、シアン、六価クロム、ジオキサンなどの地下水汚染に対しても微生物の力を利用した浄化方法が開発・適用されつつある。

これらのバイオレメディエーションは、掘削除去対策と比較してコストが大きく低減するとともに、敷地境界における浄化壁やバリア揚水などの拡散防止措置に対して、敷地内の地下水汚染範囲を基準適合させることを目的とした浄化装置という特徴を有する。今回、それらの手法について事例を交えて紹介する。

〔発表者〕 エコサイクル株式会社 環境修復事業部 営業・設計・施工部 取締役総括部長 川上 嘉充 氏
エコサイクル株式会社 環境修復事業部 営業部 部長 森嶋 章 氏

参加者 150名

